

# 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)

[PCT 36 条及び PCT 規則 70]

REC'D 15 SEP 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 FTY106	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/015485	国際出願日 (日.月.年) 20.10.2004	優先日 (日.月.年) 20.10.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. <sup>7</sup> Int.Cl. <sup>7</sup> C09D11/00, B41J2/01, 2/175, B41M5/00		
出願人 (氏名又は名称) キヤノンファインテック株式会社		

- この報告書は、PCT 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。  
法施行規則第 57 条 (PCT 36 条) の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
  - ☒ 附属書類は全部で 3 ページである。
    - ☐ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)
    - ☐ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
  - ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するデータを含む。 (実施細則第 802 号参照)
- この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
  - ☒ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎
  - ☐ 第 II 欄 優先権
  - ☐ 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
  - ☐ 第 IV 欄 発明の単一性の欠如
  - ☒ 第 V 欄 PCT 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
  - ☒ 第 VI 欄 ある種の引用文献
  - ☐ 第 VII 欄 国際出願の不備
  - ☐ 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 03.03.2005	国際予備審査報告を作成した日 05.09.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 山田 泰之 電話番号 03-3581-1101 内線 3443	4H 8720

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2004 年 1 月)

BEST AVAILABLE COPY

## 第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、\_\_\_\_\_ 語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査

☐ PCT規則12.4にいう国際公開

☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 \_\_\_\_\_ 1-60 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 7-11, 13, 14 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 \_\_\_\_\_ 1-4, 6, 12, 15, 16 \_\_\_\_\_ 項\*、03.03.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 \_\_\_\_\_ 1-7 \_\_\_\_\_ 図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☒ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、  
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-4, 6-16	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲	1-4, 6-16	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-4, 6-16	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1 : JP 2002-292989 A (キャノン株式会社) 2002.10.09

文献2 : JP 2003-119342 A (キャノン株式会社) 2003.04.23

本発明は、特定の高分子分散剤とカルシウム化合物及び／又はマグネシウム化合物を併用したインクである点で、上記文献1及び2記載の発明に対して、新規性及び進歩性を有する。

第VI欄 ある種の引用文献

1. ある種の公表された文書 (PCT規則 70.10)

出願番号 特許番号	公知日 (日. 月. 年)	出願日 (日. 月. 年)	優先日 (有効な優先権の主張) (日. 月. 年)	
JP 2004-210940 A	29. 07. 2004	27. 12. 2002		[EX]
JP 2004-210939 A	29. 07. 2004	27. 12. 2002		[EX]
JP 2004-210938 A	29. 07. 2004	27. 12. 2002		[EX]
JP 2004-210937 A	29. 07. 2004	27. 12. 2002		[EX]
JP 2004-210864 A	29. 07. 2004	27. 12. 2002		[EX]
JP 2004-204112 A	22. 07. 2004	26. 12. 2002		[EX]
JP 2004-203968 A	22. 07. 2004	24. 12. 2002		[EX]
JP 2004-249716 A	09. 09. 2004	15. 12. 2003	28. 01. 2003	[EX]
JP 2004-9679 A	15. 01. 2004	11. 06. 2002		[EX]
JP 2004-35736 A	05. 02. 2004	03. 07. 2002		[EX]
JP 2004-115717 A	15. 04. 2004	27. 09. 2002		[EX]
JP 2004-217915 A	05. 08. 2004	25. 12. 2003	27. 12. 2002	[EX]

2. 書面による開示以外の開示 (PCT規則 70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付 (日. 月. 年)	書面による開示以外の開示に言及している 書面の日付 (日. 月. 年)
-----------------	------------------------------	--

## 請求の範囲

- [1] (補正後) 高分子分散剤、水不溶性色材としてC. I. ピグメントイエロー3、C. I. ピグメントイエロー74、C. I. ピグメントイエロー93、C. I. ピグメントイエロー95、C. I. ピグメントイエロー109、C. I. ピグメントイエロー120、C. I. ピグメントイエロー128、C. I. ピグメントイエロー138、C. I. ピグメントイエロー151、C. I. ピグメントイエロー175、C. I. ピグメントイエロー183およびC. I. ピグメントイエロー184からなる群から選ばれる少なくとも1種、水溶性有機溶剤、カルシウム化合物および／またはマグネシウム化合物、および水を含有するインクジェット記録用インクにおいて、該高分子分散剤が、少なくとも1種の疎水性ブロックと少なくとも1種の親水性ブロックとを少なくとも有し、各ブロックがモノマーとしてビニルエーテル類から構成されたブロック共重合体であることを特徴とするインクジェット記録用インク。
- [2] (補正後) 高分子分散剤、水不溶性色材としてC. I. ピグメントブラック1、C. I. ピグメントブラック7、C. I. ピグメントブラック10、C. I. ピグメントブラック31およびC. I. ピグメントブラック32からなる群から選ばれる少なくとも1種、水溶性有機溶剤、カルシウム化合物および／またはマグネシウム化合物、および水を含有するインクジェット記録用インクにおいて、該高分子分散剤が、少なくとも1種の疎水性ブロックと少なくとも1種の親水性ブロックとを少なくとも有し、各ブロックがモノマーとしてビニルエーテル類から構成されたブロック共重合体であることを特徴とするインクジェット記録用インク。
- [3] (補正後) 高分子分散剤、水不溶性色材としてC. I. ピグメントレッド12、C. I. ピグメントレッド122、C. I. ピグメントレッド184、C. I. ピグメントレッド202、C. I. ピグメントバイオレット19およびC. I. ピグメントバイオレット32からなる群から選ばれる少なくとも1種、水溶性有機溶剤、カルシウム化合物および／またはマグネシウム化合物、および水を含有するインクジェット記録用インクにおいて、該高分子分散剤が、少なくとも1種の疎水性ブロックと少なくとも1種の親水性ブロックとを少なくとも有し、各ブロックがモノマーとしてビニルエーテル類から構成されたブロック共重合体であることを特徴とするインクジェット記録用インク。

- [4] (補正後) 高分子分散剤、水不溶性色材としてC. I. ピグメントブルー15:1、C. I. ピグメントブルー15:2、C. I. ピグメントブルー15:3、C. I. ピグメントブルー15:4、C. I. ピグメントブルー15:6、C. I. ピグメントブルー16、C. I. ピグメントグリーン7からなる群から選ばれる少なくとも1種、水溶性有機溶剤、カルシウム化合物および/またはマグネシウム化合物、および水を含有するインクジェット記録用インクにおいて、該高分子分散剤が、少なくとも1種の疎水性ブロックと少なくとも1種の親水性ブロックとを少なくとも有し、各ブロックがモノマーとしてビニルエーテル類から構成されたブロック共重合体であることを特徴とするインクジェット記録用インク。
- [5] (削除)
- [6] (補正後) 前記カルシウム化合物および/またはマグネシウム化合物の総量(A)が、前記高分子分散剤(B)に対して質量比で $A:B=1:50,000\sim1:200$ の範囲で含有されている請求項1~4のいずれか1項に記載のインクジェット記録用インク。
- [7] さらにアルミニウム化合物を含有する請求項1~4のいずれか1項に記載のインクジェット記録用インク。
- [8] 前記高分子分散剤の親水性ブロックが、アニオン性のビニルエーテル類から構成されている請求項1~4のいずれか1項に記載のインクジェット記録用インク。
- [9] 前記高分子分散剤の親水性ブロックが、非イオン性のビニルエーテル類から構成されている請求項1~4のいずれか1項に記載のインクジェット記録用インク。
- [10] 前記高分子分散剤の親水性ブロックが、非イオン性のビニルエーテル類から構成されているブロックと、アニオン性のビニルエーテル類から構成されているブロックとを少なくとも含む請求項1~4のいずれか1項に記載のインクジェット記録用インク。
- [11] 前記高分子分散剤が、疎水性のビニルエーテル類で構成されたブロック、非イオン性の親水性ビニルエーテル類から構成されたブロック、およびアニオン性の親水性ビニルエーテル類から構成されたブロックの順番で少なくとも構成されている請求項1~4のいずれか1項に記載のインクジェット記録用インク。
- [12] (補正後) インクにエネルギーを与えて、該インクを飛翔させて被記録材に付与して行うインクジェット記録方法において、該インクが、請求項1~4、6~11のいずれか1

項に記載のインクジェット記録用インクであることを特徴とするインクジェット記録方法。

- [13] 前記エネルギーが、熱エネルギーである請求項12に記載のインクジェット記録方法。
- [14] 前記被記録材が、少なくとも一方の面にインクを受容するコーティング層をもつ被記録材である請求項12に記載のインクジェット記録方法。
- [15] (補正後) インクを収容したインク収容部を備えたインクカートリッジにおいて、該インクが請求項1～4、6～11のいずれか1項に記載のインクジェット記録用インクであることを特徴とするインクカートリッジ。
- [16] (補正後) インクを収容したインク収容部を備えたインクカートリッジと、該インクを吐出させるためのヘッド部を備えたインクジェット記録装置において、該インクが請求項1～4、6～11のいずれか1項に記載のインクジェット記録用インクであることを特徴とするインクジェット記録装置。